

2025年12月24日

報道各位

住友林業株式会社

第77回 全国カレンダー展 金賞と特別賞を受賞

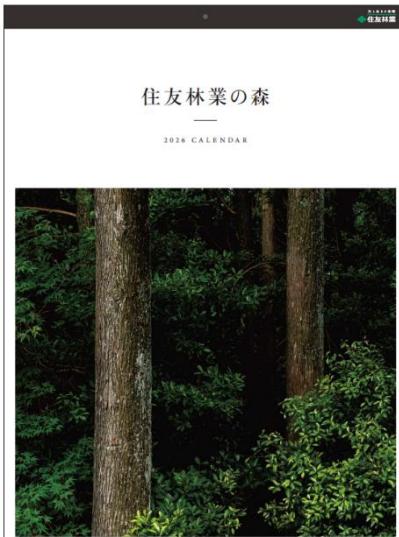
2026年オリジナルカレンダー「住友林業の森」

住友林業株式会社（社長：光吉 敏郎 本社：東京都千代田区）の2026年オリジナルカレンダー「住友林業の森」は「第77回 全国カレンダー展」の第1部門※1で金賞を受賞しました。同時に特別賞の日本グラフィックデザイン協会賞※2を受賞しました。

※1 第1部門とは、BtoB向け企業カレンダー（企業・団体に配布するカレンダー）を対象とする部門

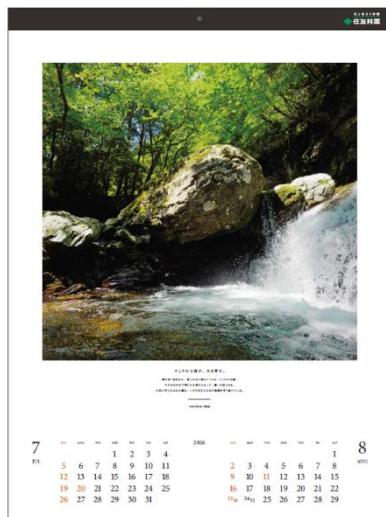
※2 デザイン性に富み、総合的に優れているものに贈られる特別賞

全国カレンダー展は1950年（昭和25年）から始まった歴史あるコンクールで、今年は351点の応募があり、その中から69点が入賞しました。「企業の文化的メッセージを伝えるコミュニケーション手段」、「人々の生活空間に潤いを与える印刷媒体」といわれるカレンダーの印刷技術、企画・デザイン力、機能性や実用性に優れた作品を顕彰することを目的としています。



当社グループは、北海道から九州に広がる約4.8万ha（国土の約1/800）の社有林の風景写真を掲載したカレンダーを毎年制作しています。2026年のカレンダーは、社有林の写真とともに森にまつわるコラムを紹介しています。植えて、育てて、伐って使い、また植える。「林業」を通じて生まれる森と人との豊かな関係を、四季折々の美しい森の風景とともに表現しました。

当社グループは森林経営から木材建材の製造・流通、戸建住宅・中大規模木造建築の請負や不動産開発、木質バイオマス発電まで「木」を軸とした事業をグローバルに展開しています。2030年までの長期ビジョン「Mission TREEING 2030」では住友林業のバリューチェーン「ウッドサイクル」を回すことで、森林のCO₂吸収量を増やし、木造建築の普及で炭素を長期にわたり固定し、自社のみならず社会全体の脱炭素に貢献することを目指しています。世界の脱炭素シフトへのパートナーとして当社グループ独自の「ウッドソリューション」を提供し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



すこやかな森が、水を育む。

雨を深く抱き込み、澄んだ水に換えてくれる、すこやかな森。
その水はやがて清らかな流れとなって、潤いを巡らせる。
大切に手入れされた森は、いのちを支える水の循環を守り続けている。



紅葉は森のごちそうになる。

森を染め上げた紅葉はやがて舞い落ち、地面を彩る。
落ち葉が土壤の栄養となっていく季節は、森にとっての「食欲の秋」。
あえて手を入れずに自然に任せる。それもまた、林業の営みなのだ。

【2026年住友林業カレンダー 概要】

- タイトル：「住友林業の森」
受賞：金賞・日本グラフィックデザイン協会賞
体裁：タテ 608mm／ヨコ 450mm、8 頁・表紙・奥付含む

【展示会開催 概要】

- ・東京会場
日時：2026年1月26日(月)～1月30日(金)
場所：東京サンケイビル B1F、B2F ブリックギャラリー(東京都千代田区大手町1-7-2)
- ・大阪会場
日時：2026年2月17日(火)～2月26日(木)
場所：平和紙業ペーパーボイス大阪(大阪府大阪市中央区南船場2-3-23)

【第77回全国カレンダー展 概要】

- 主催：一般社団法人日本印刷産業連合会、産経新聞社
協賛：全国カレンダー出版協同組合連合会
後援：経済産業省、文部科学省、独立行政法人国立印刷局、日本商工会議所、日本製紙連合会、
公益社団法人日本マーケティング協会、全国中小企業団体中央会、
公益社団法人日本グラフィックデザイン協会(JAGDA)、一般社団法人日本カレンダー暦文化振興協会

《本件に関するお問い合わせ先》

住友林業株式会社
コーポレート・コミュニケーション部 門司・大西
TEL 03-3214-2271

木と生きる幸福

住友林業グループ